

取手アートプロジェクト2009

「産直とれたてアート」



※TAP トラベルのツアーコースなど、
詳しい内容は次のページからご説明いたします。

取手生まれ、取手育ち、自慢のアートが鈴なりの秋。TAP2009 では「産直とれたてアート」と題し、取手市近郊の 51 軒 100 余名ものアーティストとその作品を丸ごと楽しむ旅をご用意しました。

ひとりで自由にその日開いているアトリエを訪れて頂けるのはもちろん、毎日数本準備しているツアーにお申し込みいただくと、広範囲を効率よく、ガイドの詳しい解説を聞きながら巡ることができます。

TAP2009 主要事業

※赤字が追加情報です。

1 TAP トラベル

取手市内在住のアーティストのアトリエ 51 軒を公開し、取手ならではの自然や、市内に点在するアートスポット、老舗の酒屋などを堪能できるツアーを計画。関連企画も盛り沢山！

期間*10月17日～11月15日までの[土][日][祝]
TAP トラベルツアーの内容が決定しました！
9月中旬より申し込み承ります！

4 国際交流プログラム

守谷市で行われている ARCUS プロジェクトと連携し、海外のアートスペースと作家・スタッフを交互に派遣します。

Seoksu Art Project(SAP)

TAP2008 公募選出アーティストの柴田祐輔を派遣

ARCUS プロジェクト

台湾人招聘作家 Wu Shang Lin を約1ヶ月間 TAP 側で受け入れ、生活や制作をサポート。

調査事業

国内外のアートプロジェクトの調査交流をおこなう。

2 各種イベント・レクチャー

先日オープンした、事務所兼アートスペース「Tappino」にて月1回以上レクチャーや上映会、ワークショップなどを開催します。

既におこなったイベント

7月の企画*山中カメラレクチャー

8月の企画*ウー・シャンリンレクチャー

*西尾美也レクチャー

*わくわくワークショップ

3 こどもプログラム

アーティストを小学校に派遣し授業をします。授業でできた作品は、取手市内の全小学1年生約800人を対象とした児童作品展で展示。今年のテーマは「のりものにのって」。取手市と中国・桂林市の友好都市20周年を記念して、桂林市の小学校1年生の作品も同時に展示します。毎年好評の、作品を作ったこどもに宛ててお手紙を書く「おともだちのさくひんにおてがみをかこう！」も実施。

8月の企画*わくわくワークショップ

9月の派遣*3校で派遣授業を実施

1 TAP トラベル



取手アートプロジェクトはこれまで隔年で全国から作品を募集する公募展と、取手市近郊のアーティストのアトリエを公開するオープンスタジオを交互に行ってきました。今年はオープンスタジオの年にあたり、「TAP トラベル」と銘打った魅力的なツアーをメインに、さまざまなイベントやWSも同時開催いたします！

取手市内在住の今注目の若手作家から、長年住むアトリエに窯を構えて腰を据え制作する作家、自宅で教室を開きこどもから大人まで生徒を持つ作家まで、さまざまなアトリエとアトリエを繋ぐ魅力的なツアーを企画します。それぞれのツアーには取手の老舗のお店屋さんや取手の名所、豊かな自然が楽しめるポイントや、市内各所に散らばるアートスポットを盛り込み、ツアー終了後は TAP の活動拠点となる取手井野団地内のアートスペース「Tappino」でイベントなどもおこないます。

- ・開催時期：10月17日～11月15日の[土][日][祝]
- ・場所：取手市内全域のアトリエ、ギャラリー、カフェなど
- ・料金：あり（資料代程度）
- ・インフォメーション：取手駅東口駅前「とりでアートコンシェルジュ」

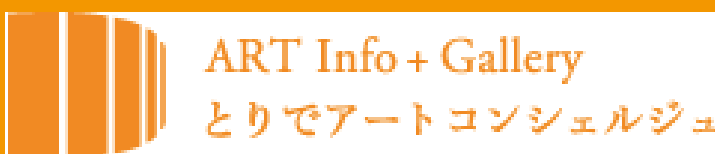


TAP2005 芸大生なりきりツアーのようす

ARTInfo+Gallery とりでアートコンシェルジュ



「ARTInfo+Gallery とりでアートコンシェルジュ」は、茨城県取手市に2009年4月4日にオープンした、『アートインフォメーション』と『ウィンドウギャラリー』の機能を備えたスペースです。取手市内のアート情報や、取手にゆかりのあるアーティストの活動を紹介するとともに、外からも見られるギャラリーでの作品展示をおこなっています。TAP2009 では来場者を最初に迎えるインフォメーションとして機能します。



〒302-0004 茨城県取手市取手2-10-15 ナガタニビル1F
EMAIL: info@toride-art-concierge.com
OPEN: 金・土・日 10:00～17:00



7/14におこなった作家との話し合いのようす

現在アトリエ53軒、のべ100人以上のアーティストの参加が決定し、全国的にみても一度にこれだけの数のアトリエを公開するアートプロジェクトはTAPだけです。参加アトリエ数も2005年が27軒、2007年が48軒、2009年が51軒と会を追うごとに増えています。最近では作家同士の交流もさかんにおこなわれ、地域ごとに自主的に共同の企画をおこなうところも出てきました。取手市近郊にはギャラリーをはじめとするアートスポットが増え、ますますアートのまちになっていく取手の、産直のアートをご覧ください。

ツアーの詳細は次頁から→

ツアーは全部で12種類！お申し込みは9月中旬開始です！

10/17
(土)

ここからはじまるツアー

ここで生まれた。ここで育った。まさに取手育ちのアーティストをつなぐ最初にふさわしい旅、ご紹介します。

9:50 集合→



21 島田忠幸



04 金田鹿男



03 海老原靖



16 石引卓



26 長雄新

→ 13:00 解散予定

●定員：20名

●参加費：500円

10/18
(日)

利根町廃校+壁画ツアー

アートのまちの名物！壁画と廃校での展示、まちとアートをつなぐ旅に出かけませんか？

9:50 集合→



29 Casa del Ritmo



50 平塚正義



49 Ar 利根 Open Site



Cafe+gallery
OMONMA Tent



まちの各所の壁画

→ 13:00 解散予定

●定員：20名

●参加費：500円

11/1
(日)

13:50 集合→

→ 17:00 解散予定

10/18
(日)

取手ほろ酔いツアー

あっちへ良い良いこっちへ酔い酔い、大人だけが楽しめるっておきの旅。アートに酔った後には何かが・・・？

13:50 集合→



22 第0研究室



26 長雄新



24 ミーナ



18 梅木隆



28 松本祐一



21 島田忠幸

→ 17:00
解散予定

●定員：20名

●参加費：1000円

→ 17:00
解散予定

10/24
(土)

ぶらり藤代周遊ツアー

藤代方面でぶらっと楽しむお得な旅をどうぞ。音楽家の演奏を挟んでさまざまなアートをたっぷり味わう日にしませんか。

9:50 集合→



26 長雄新



43 アトリエ倉



45 奈良榮子



46 小池昌子



47 先崎宗岑



いちねんせいのさくひんてん

→ 13:00
解散予定

●定員：20名

●参加費：500円

→ 13:00
解散予定

10/31
(土)

帰ってきた芸大生なりきりツアー

1日芸大生体験！あの人気ツアーが再び。憧れの学び舎で、普段できないあれこれ叶えます。

9:50 集合→

→ 13:00 解散予定

●定員：20名

●参加費：1000円

1日有効の学生証発行？ドキドキの授業体験と展覧会見学！食堂でお昼も楽しめます◎
お楽しみに！！

10/31
(土)

こだわり隠れ家ツアー

こっそり？いえ、しっかりご案内！こだわりのアトリエを訪ねる旅。取手の絶景もお待ちしています。

13:50 集合→



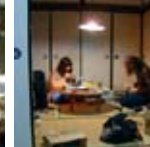
30 平田五郎



03 海老原靖



06 佐々木幹雄



20 宿ポット



01 藤原・石井共同アトリエ

→ 17:00 解散予定

●定員：15名

●参加費：500円

9:50 集合→

→ 13:00 解散予定

11/3
(火・祝)

親子でぐるぐるツアー

こどもも大人も楽しめる芸術の秋の旅。ゆったり巡るバスに乗ってアートに会いに行きましょう。

9:50 集合→



いちねんせいのさくひんてん



45 奈良樂子



井野アーティストヴィレッジ



Tappino



まちの各所の壁画

→ 13:00 解散予定

●定員：20名

●参加費：無料！

11/8
(日)

美の大三角形ツアー

取手、つくば、牛久のアートを三角形を描いて結ぶ旅。現代アートと地元音楽家の演奏をどうぞお楽しみに！

9:50 集合→



48 FAV



51 the space WHO



女化アートフィールド



12 取手市音楽家協会

→ 13:00 解散予定

●定員：20名

●参加費：500円

11/8
(日)

小文間まんまツアー

見ごたえのあるアトリエの集まる小文間地区をまるごと楽しむ旅。さまざまな分野の匠の技に触れてみませんか？

13:50 集合→



40 福田玲子



41 松村真



39 アトリエ蔵



38 小文間工房



Cafe+gallery
OMONMA Tent

→ 17:00
解散予定

●定員：20名

●参加費：500円

11/14
(土)

TAP⇄ARCUS ツアー

13:50 集合→

取手と守谷、お隣同士のアートプロジェクトを橋渡し。
ARCUS と TAP を結ぶ贅沢ツアーです。

お隣守谷市でアーティスト・イン・レジデンス事業をおこなう ARCUS プロジェクトと
取手アートプロジェクトを結ぶ夢のツアー。

→ 17:00
解散予定

●定員：20名

●参加費：500円

11/14
(土)

アートパレードツアー

キラキラわくわく活きのいいアートの大行進！次は何が出てくるかな？ どんどんつながる盛りだくさんの旅。

9:50 集合→



14 tap house



2 TIKO



48 FAV



33 下西進



34 柴田悠基



31 桐生真輔アトリエ

→ 13:00
解散予定

●定員：20名

●参加費：500円

→ 17:00
解散予定

11/15
(日)

しっとり静謐ツアー

アートを巡る秋のしっとり旅。陶芸、日本画、こだわりの作品との出会いが
静かな心を揺さぶります。

9:50 集合→



09Moriyama-Wiffen



04 金田鹿男



27 島本智重子



42 鈴木厚



25 島田三郎

→ 13:00 解散予定

●定員：20名

●参加費：500円

* 集合・解散は基本的にインフォメーション前となります。
* 参加費はツアーにより、飲食代や資料代などが含まれます。
* ツアー内容は急に変更になる場合がございます。ご了承ください。

お昼を食べて別のツアーへの参加も可能。
夕方からは Tappino にて各種イベントも！



01 藤原・石井共同アトリエ
日々の中で感じるさまざまな肌理を絵画にする藤原佐多央と、土着的な文化背景にある自然素材による表現を研究し絵画を制作する石井瑞穂の共同アトリエ。



02 TIKO
東京芸大（先端）在籍・卒業したメンバーを中心に、多くの若手作家の交流の場となっているアトリエ。”FRESH”として展覧会なども行っている。



03 海老原靖
東京芸大（油画）修了。現代美術家。油画、映像、彫刻などさまざまな分野での制作をおこなう。国内外での個展にも多数出品し活躍している。



04 金田鹿男
取手市白山に築窯し、全国で個展を開催。生家弘経寺にて、毎年個展を開く。象嵌、刷毛目、粉引などの手法の作品をつくる。日本工芸会正会員、茨城工芸会会員。



05 来栖義明
高校卒業後、いくつかの職業を経て、30 代半ばにして絵画に目覚める。自宅兼アトリエでクレヨン、アクリル、墨などを使って絵画を制作している。



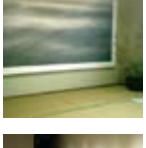
06 佐々木幹雄
造園家、自然写真家。13 回の転居を経て、小貝川に魅せられ旧藤代町山王に移住。利根川中流域の自然美を写真、作庭、生活の中に求める。



07 辻耕
1966 年東京生まれ。母方の家族が旧満洲帝国で暮らす。各地のレジデンスに参加し、「個人と制度」などをテーマに、企画によって様々な分野・媒体で活動する。



08 丸山敏郎
30 年余り高校教諭として勤務後、55 歳でニューヨーク美術大学 SVA 卒業。帰国後、取手市白山に窯を開く。信楽の土を用いた食器やオブジェを制作する。



09Moriyama-Wiffen
森山優子とキース・ウィフィンのアトリエ。水辺の風景の絵を展示する他に、キースは白黒写真の現像、森山はサイアノタイプワークショップもおこなう。



10 小原馨
武蔵野美術大学別科実技専修科（油絵専修）卒業。美術家、特別支援学校教員。鮮やかに彩色された手漉し和紙で見るだけでなく、触覚を体験できる作品も制作。



11 神長蘭徑
書道家。わかりやすい書体と、温かい線質で表現。11 月 1 日のワークショップでは、ハガキに一字書を書くことで書の魅力と楽しさを教える。



12 取手市音楽家協会
2007 年発足。専門は鍵盤・声楽・弦楽器・金管楽器・木管楽器・古楽器と幅広く、クラシック以外にもさまざまな曲を演奏する。



13 井沢大也 010 ギャラリー
東京芸大（彫刻）修了。陶彫という手法で作品を制作。取手に移り住み早 3 年、ギャラリー&スタジオ マルイチマルを拠点に制作活動、各地で個展も開催する。



14 tap house
TAP スタッフが代々寄り添って暮らす丘の上の一軒家。沢山のアーティストとスタッフが夜な夜な集まる。事務局で住人の一人、岩本室佳の作品展示をおこなう。



15 鈴木勲
旅人で美術家。太陽光、風力など自然エネルギーを動力にした乗り物でアジアを中心に旅する。モベットバイクや風力自転車などの展示・試乗をおこなう。



16 石引卓
カメラマン。日本大学芸術学部写真学科を卒業後、出版社の写真部を経て今に至る。ギャラリー IMS にて、ピンホールカメラをつくるワークショップをおこなう。



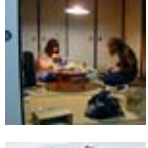
17 石山宣伝研究所
親子でデザインを軸にした motive power（動力）を提案している。今回はグラフィックデザインの領域を広げた作品の数々を公開する。



18 梅木隆
秋田公立美術工芸短期大学卒業。写真、言葉、声などを用いて、普遍的な母と子の関係、家族、介護などを通して見えてくる信頼関係のあり方を形にする。



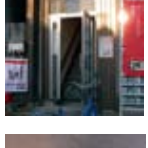
19 アトリエ観音堂
取手市指定文化財東漸寺山門観音堂の管理棟を東京芸大（先端）在籍の石塚つばさ、泉卓志、黒川潤、田中一平が共同アトリエとして使用している。



20 台宿ポット
東京芸大（先端）修士の佐々木友輔と石塚つばさによる、生活の延長線上にある芸術を実験・実践する場。取手に縁や思い入れのある作家を招いての企画展示を予定。



21 島田幸
各国の野外展や国際シンポジウムにも参加。TAP2000 では巨大砂時計、TAP2002 ではサッパ舟による浮橋を制作。越後妻有トリエンナーレ 2009 大地の芸術祭参加。



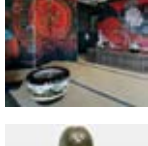
22 第 0 研究室
TAP2003 の壁画制作を機に設立。現在は、浅野純人、北岡竜行、傍嶋賢の 3 名で市民と芸大生の架け橋となるさまざまなプロジェクトの企画・運営をおこなう。



23 取手アトリエ
芸術系大学受験予備校取手アトリエの併設ギャラリー「gimmickarts」で、代表である前田正憲（画家）の個展と内藤信（画家）の個展を 2 期に分けておこなう。



24 ミーナ
オリッシィダンサー。19 の時イロダンスに出会う。84 年よりクムクムラール女史に師事。ホルルの他、学校、ストリートでの公演、各地でワークショップを展開。



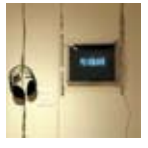
25 島田三郎
日本画家。創展などで多数の賞を受賞。多彩な色彩を用いて迫力のある日本画を制作。会期中は古い佇まいを残す商家である金門酒蔵で作品展示をおこなう。



26 長雄新
東京芸大（彫刻）修了。彫刻家。シャープながら温かみのあるフォルムの、現代的な人物像を制作している。漆や合成樹脂を素材とした作品を、国展を中心に発表。



27 島本智重子
法政大学卒業。井野アーツストヴィレッジ入居に伴い活動拠点を取手に移す。ルーツは書道だが、現在は文字の造形や可読性をテーマに、実験的な作品を制作する。



28 松本祐一
IAMAS 卒業。代表作にアンケート・アートという、アンケートをおこないその回答をもとにつくるメディア・アート（音楽作品）がある。



29 Casa del Ritmo
メディアアートの松本祐一（2008 年度武蔵徹作曲賞）と揚妻博之（芸大先端修士 1 年）の同居兼スタジオ。外壁は FRESH の松下徹と加茂昂によるグラフィティ。



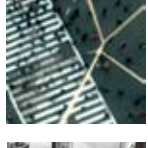
30 平田五郎
東京芸大（壁画）修了。2 カナダ〜アラスカを旅行し、当地の神話に基づいた十個の作品をつくるフィールドワークをおこなう。小さな彫刻の上で育つ植物を公開。



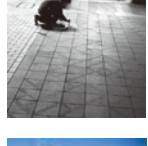
31 桐生真輔アトリエ
東京芸大（先端）博士在籍。「文身」という、イレズミ行為を背景に書と言葉と人間の関係について問う手法を用い、美術における書の表現について考察する。



32 Yugamasu
東京芸大（先端）三年の鎌田友介、久保ガエタン、藤原正徳、趙純恵による共同アトリエ。利根川に臨むビルの最上階でさまざまな企画を自主的にこなす。



33 下西進
武蔵野美術大学修了。各国の都市を撮影し、その中に自分が写り込む作品を制作する。大量の風船にカメラを取り付け、井野団地の上空を撮影する現場を公開。



34 柴田悠基
IAMAS 卒業。メディアアート、グラフィティなどの分野での制作をおこなう。オーブンスタジオでは、場に残された記憶の痕跡をテーマに、制作中の絵画を公開する。



35 D-Labo
5 人の作家のアトリエ。101 号室は写真暗室で、銀塩写真作品を制作し、102・103・104 号室では油彩画などの平面、立体、インスタレーションを制作する。



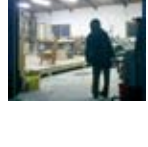
36 井野アーティストヴィレッジ
若手作家のための共同アトリエとして 06 年 12 月にオープン（東京芸大と取手市の連携事業）。7 つのスタジオに総勢 35 名が入り、活発な作品制作をおこなっている。



37 柴田克哉
木では指物の技法を中心に日本の木材にこだわり、漆では木を生かした塗りから、乾漆、蒔絵まで様々な技法で自由に表現している。



38 小文間工房
東京芸大（工芸）出身の漆・鍛金・彫金作家、柴田克哉（代表）、磯崎えり奈、押元信幸、茂田典子、成瀬好徳、宮本沙織、康舞香、平塚貴司が活動する。



39 アトリエ蔵
大谷造りの元農協米蔵を改造した共同アトリエ。今年から石彫の片山賢、森岡慎也に新しく木彫の阿部乳房を加えた 3 人での作品制作をしている。



40 福田玲子
巨大なキャンバスに生命感あふれる大地を描き、あらゆるメディアを使い写実的な画面を創りあげている。生死を見つめ、力強いエネルギーを感じる作品を制作。



41 松村真
創作木工家具を制作。木を刻む音や感銘の心地よさと、それを組むことによって現れる、構造的な形と空間に木工の醍醐味を感じながら制作する。



42 鈴木厚
彫刻や絵画で追求してきたことが、数年前にはじめた磁器の意匠の中で実現しやすいと気づいた。例え壊れてしまっても、悲しくも清々しいことと思いたい。



43 アトリエ倉
彫刻家倉持芳の遺族が、作品を収蔵・展示し地域に公開するために設立したアトリエ。「文化工房ふじしろ」は、ここを活動拠点として、さまざまな文化活動を展開。



44 オータミュージック
ファゴット奏者。コンサートをおこなう他、日頃演奏する機会のない珍しい楽器の体験や、無料の個人レッスン、ファミリーレッスンを受けることができる。



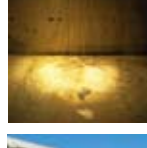
45 奈良榮子
障害を抱えた青年達と共に活動することで、彼らから多大な影響を受ける。「漂流」をテーマ自身の作品と彼らの作品を、ふじしろ図書館ギャラリーで展示。



46 小池昌子
七宝作家。日本画の経験を生かして組み立てたイメージを七宝焼で表現し、1 メートルを越す大きな平面や立体作品を制作している。



47 先崎宗孝
仏像彫刻師。献納する仏像や、在家仏を制作・修復。柏、取手にて仏像彫刻教室を開催するほか、木彫作品も制作。著書「越前立木観音」で仏師の制作と半生を語る。



48 FAV
藤代駅徒歩 5 分のテナントで小牟田悠介、山本野、明石雄、大庭大介、大谷透の 5 人が並んで日々制作をおこなっている。



49 Ar 利根 Open Site
利根町在住のさまざまなジャンルの作家が廃校でこなうプロジェクト。アートで、観る者と共にこれからの利根町におけるドメスティックアートを模索する。



50 平塚正義
バステル画と彫刻を制作。取手駅西ロータリー、取手一中、取手東中、小文間など近郊小中学校のプロミス像も手がけ、個展や生徒への指導もおこなう。す。



51 the space WHO
民家を改造し、デイリー、キム・ヨンミ、クワン・ジャヨン、キム・ソンヨンら韓国の作家 4 名によるレジデンス・プロジェクトを契機にスタート。作品も公開。



こんなにたくさんのアトリエが一度に公開されること、めったにありません！

2 各種イベント・レクチャー

TAP2008で、かつて団地内の銀行出張所だった場所をみかんぐみ（建築家ユニット）がコミュニティカフェとしてよみがえらせた「Cafe Tappino」を、今後もアートスペースとして活用できるようになりました。団地や市内に住んでいる人、TAPに集うアーティスト、観客すべてをつなぐアートスペースとして、各種イベント・レクチャーやワークショップを定期的に開催します。

- ・開催時期：月1回以上、WEB等で告知
- ・場所：アートスペース「Tappino」



Ino-Brass-ondoを演奏してくれた中学生と山中カメラ



ウー・シャンリンin台北



TAP2008「SORANOTSUMORI」

① 山中カメラ別府報告会@取手 7/18(土) 17:00～

TAP2006、2008参加作家の山中カメラが今年4月～6月に行われた別府現代アートフェスティバル「混浴温泉世界」で新に制作した「別府最適音頭」の報告会をします!特殊写真家/現代音頭作曲家の山中カメラのこれまでの作品や、TAPでつくったBONDANCE3部作の制作秘話を本邦初公開!!!取手がテーマのマルトの音頭、井野団地を舞台としたBRASS-ONDO収録のCDやDVDも発売。

山中カメラ(特殊写真家/現代音頭作曲家):1978年山口県生まれ。04年「GEISAI-6」にて銀賞受賞。とうじ魔とうじ主宰「フロント」所属。自作の写真、映像、歌が融合した独特の「カメラショー」をライブ形式で展開。TAP2006で生まれた「マルトノ音頭」をはじめ、韓国で制作した「BonDance/SEOKSU-SUWOLLAE」や新たに取手井野団地で作曲した「BonDance/BRASS-ONDO」と独自のパフォーマンスでお祭りを開催。

http://blog.livedoor.jp/y_camera/

② 吳尚霖「作品と世界」レクチャー WU SHANG LIN LECTURE 8/1(土) 15:00～

アーカス・プロジェクトは、1995年から守谷市で行われているプロジェクトです。公募によって世界中からアーティストを招き、長期滞在制作と展覧会、ワークショップ、レクチャー、コンサート、映像上映会などを行っています。今年度は初めての試みとして、TAPで1ヶ月間、アーカスで来日する台湾人アーティストのウー・シャンリンを受け入れ、Tappinoに滞在してもらうことになりました。

そこで、個人や廃屋、都市にまつわる記憶や痕跡について、独自の視点を投げかける作家の活動紹介を行います。

③ 西尾美也レクチャー 8/15(土) 17:00～

西尾美也は、これまで自己と他者の関係性をテーマに、ワークショップやパフォーマンス、インスタレーションなどを行い、「衣服表現の可能性」について探求してきました。TAPとの関わりも深く、TAP2006からは会期中TAPスタッフが着用するユニフォームを制作するユニフォーム・プロジェクトを継続して行っています。

本レクチャーでは白井隆志氏(アーティスト・イン・児童館実行委員会代表;2008年秋から2009年春はこちらで西尾氏がプロジェクトを行いました。)をゲストに招き、これまでの活動についてTAP以外のプロジェクトの話も交えて紹介します。

イベントについてのご意見、
ご質問はこちらまで↓

Tappino

〒302-0012
茨城県取手市井野団地3-21

TEL&FAX 0297-72-0177

(電話のみ火・金 13:00～17:00)

E-mail tap-info@ima.fa.geidai.ac.jp

URL <http://www.toride-ap.jp>



9月は後半にアンサンブルコンサートを予定しています。詳細はHPまたはTAPnews!にてお知らせします。

3 こどもプログラム

児童作品展「のりものののって」

※7月には4校で派遣授業を実施します。

アーティストを小学校に派遣し授業をします。授業でできた作品は、取手市内の全小学1年生約800人を対象とした児童作品展で飾られます。今年のテーマは「のりものののって」。取手市と中国・桂林市が友好都市になってからちょうど20周年ということもあり、桂林市の小学校1年生の作品も同時に展示します。毎年好評の、作品を作ったこどもに宛ててお手紙を書く「おともだちのさくひんにおてがみをかこう!」も実施。

・開催時期：10月27日[火]～11月15日[日]
(※11月2日、9日をのぞく)

・会場：麒麟ビール取手工場ゲストホール
・料金：無料



夏休み特別企画

わくわくワークショップ

みんなでわくわく、ワイワイつくっちゃおう!

こどもプログラムでは、1999年から取手市内の小学校1年生全員の作品を展示する「児童作品展」を開催してきました。また、児童作品展に向けての制作をサポートする「アーティスト派遣事業」を実施し、こどもたちがアーティストとふれあい、個性的・創造的な造型感覚や魅力的な表現を学ぶ機会を提供してきました。

11年目の今年は、夏休み特別企画として「わくわくワークショップ」と題し、こどもたちが楽しくアーティストや芸術に接する機会を、教室から地域へと広げていきます。親子で参加することもできるこの企画では、「こどもとアート」への関心が更に高まる場づくりを目指しています。

参加費：500円(材料費含む)

会場はTappinoおよび井野アーティストヴィレッジです。



2006年ACD江渕未帆ワークショップの様子

8/17(月) メッセージ入りのステンドグラスをつくろう 梅木隆(アーティスト) 済

色鮮やかな半透明紙やカラーペーパーを使用し、簡易的なステンドグラスを制作します。色紙の1枚のひとは隣にいる親(子)へのメッセージをひとつ書いてもらい、メッセージを書いた紙のまわりをさまざまな色紙を切り貼りしてデコレートしていきます。最後にラミネートし、できあがったステンドグラスを窓ガラスにはってゆきます。

8/22(土) INO おばけボックスをつくろう! はってをはがせるお面をつくって、ビデオでおばけに変身してみよう! 外村友紀(アーティスト) 稲垣靖子(映像作家) 済

目や鼻、口など部品を貼ったりはがしたりしていろいろな表情が楽しめるお面をつくります。ビデオが設置されたボックスでお化けに変身してみます。

8/23(日) 大きな紙に書こう 島本智重子(書家) 済

学校の書初めで使う紙より大きい紙で書初めと同じ要領で書きます。1人2、3枚。書く文字は自由。夏の思い出、楽しかったこと、嬉しかったことなどを文字にしてみます。親も同じように、こどもの筆をかりて書きます。

8/29(土) ファッション・スナップ in 取手! ~みんなのブローチ編~ おとこのこも、おんなのこも、手作りしたブローチを全身につけまわって、ファッション・スナップをとってもらおう! 江渕未帆(ジュエリー・アクセサリー作家)

折り紙で、または描いた絵を切り抜いてブローチをつくります。それを片端からどンドン着用します。好きな場所にブローチをつけてポートレート撮影します。

※ご好評につき、長期の休みにまた開催したいと思っています。

4 国際交流プログラム

昨年行った韓国との国際交流プログラムでは作家やスタッフ、団体にとっても貴重な経験を得る事が出来ました。今年度は守谷市で行われている ARCUS プロジェクトと連携し、海外のオルタナティブスペースと作家・スタッフを交互に派遣します。

現在は、韓国安養市にある supplement space「Stone&Water」が主催する Seoksu Art Project(SAP) へ、TAP2008 公募選出アーティストの柴田祐輔を派遣しました。

ウー・シャンリンの作品



Listening



Labyrinth-I_C

また、お隣守谷市でアーティスト・イン・レジデンス事業をおこなう ARCUS プロジェクト招聘作家の台湾人アーティスト、ウー・シャンリンを 7 月 23 日から 1 ヶ月間 TAP で受け入れました。

「人」や「都市」の肖像をテーマにパフォーマンスや映像作品を制作するアーティストが取手や守谷でどのような制作をおこなうのか。是非ご覧ください。



SAP2008 メイン会場



柴田祐輔作品の部分



部屋のように

5 調査事業

11 年目を迎えた取手アートプロジェクトが、継続して地域でおこなうアートプロジェクトとして今後どのようなはたらきかけを人々や社会にしていくべきかを考えるために、全国各地のアートプロジェクトの調査・交流をはかっていきます。それぞれのアートプロジェクトや芸術文化団体がどのような運営をおこなっているかの実態を調査すると共に、今まで以上に積極的に横のつながりをつくっていくことで、各地のアートプロジェクトの相互発展を期待します。

また、国際交流プログラムでの、海外のアートプロジェクト・オルタナティブスペースの調査交流と協調し、TAP が先頭に立って日本のコミュニティ・アートの紹介を海外に向けておこなう試みにもチャレンジします。

妻有アートトリエンナーレ、淡路島アートプロジェクト、水都大阪、堂島ビエンナーレ、広島アートプロジェクト、ワタラセアートプロジェクト、黄金町バザール、鳥の劇場、丸亀アートプロジェクトなど多数。

お問い合わせ 【担当：岩本】

取手アートプロジェクト実施本部

〒302-0012

茨城県取手市井野団地 3-21

電話 & FAX / 0297-72-0177

E-mail / tap-info@ima.fa.geidai.ac.jp

URL / <http://www.toride-ap.jp/>

好評発売中！

TAP2008 記録集完成
amazon でもご注文頂けます。

第23回国民文化祭・いばらき2008
取手アートプロジェクト2008
「取手井野団地一電気・ガス・水道・アート完備」
定価：本体1,500（税別）
ISBN978-4-9903739-4-8 C0070 ￥1500E

